

2020年（令和2年）度

特定非営利活動法人自遊の広場 事業計画

2006年10月、当法人が設立。はや14年目である。その間、主に小規模多機能型居宅介護支援事業を行ってきた。すずかけの家である。

そこで私たちは、年をとっても自分らしく生きたい・住み慣れた家や地域で暮らしたい・そこが自分の居場所であり続けたいという、人の思いを保証しようとふんばってきた。

ここにきて、小規模多機能の有効性・重要性を実感すると共に、課題も浮き彫りになってきたように感じる。

例えば、以下の点である。

- ① 介護保険上でのマイナス面
 - ・ 登録者しか利用できない
 - ・ 「住む」ことができない
 - ・ 高介護（3、4、5）者には不向き⇔24時間のケアは不可能に近い／小規模の保有単位等制度上訪問看護、訪問入浴などとの「多職種協働」が難しい
 - ・ 低介護度者にも服薬管理等サービス提供量が増える——結局、人件費を圧迫するか、利用者及び家族が入所施設志向となってしまう。
 - ② 人が暮らすのは、介護だけでなく多面にわたる。それに十分応えきれてない
 - ③ ②に加え、災害時等サービス提供のない日は誰が責任もって助けるのかの問題
 - ④ ②③を解決するには、インフォーマルな社会資源を含む「地域力」が鍵となる。
- その点牧野の篠原は、地域力の強い地区といえるのだが。

私たちは今漠然と、こんな風に考えている。

すずかけの家を補完する、かつ登録者以外も住む機能を持ち、地域住民始め誰もが楽しんで利用できる場所・機能を持つこと。

具体的には、シェアハウス・サ高住のようなもの。高齢者・障害者・若者・外国人まで視野におき、その誰もが居場所として実感できる場所。食堂など住民と触れ合える、あるいは何でも相談できる機能。畑や動物飼育などあらゆることを通して、お客さんではなく主人公でいられる空間や時間が欲しい。

まず家・場所探しから、と一歩踏み出した。篠原に拠点を持ちたいが、藤野町全体を見ても力を持った諸資源がある。

必要なものとして、知恵・アイデア、人、資金などすぐに思い浮かぶし、どれをとっても簡単にはいかないだろうとは思う。

でも、これまで培った経験や人脈を生かして、次のステップに取り掛かっていきたい。

令和2年度

すすかけの家事業計画

はじめに

昨年の台風被害その後のコロナ騒動で、すすかけの生活形態にも影響がでたし当然のことでもある。そこで私たちは緊張感を持たねばならないし、逆に神経質になりすぎても利用者に不安を与えてしまう。

この一見乖離するが如き事態でバランスをとるには、原点に返ること＝今の暮らしを保証し続ける＝個人と集団の心身共安定したペースを堅持することであろう。

利用者・地域との関係

① 家族との関係を強化する。

昨年度もこの問題を書いた。利用者当人や私達が在宅生活を望んでも、介護する家族の意向によっては入所生活となる。昨年度もいくつかのケースがあった。負担の重い家族を孤立させないよう、常に寄り添っていかねばならない。

今年度もケアマネージャー・生活相談員を中心に、担当者会議や訪問・送迎等日常的にもコミュニケーションをとるようにしていく。

また、昨年度の家族会で、心情を吐露するだけでなく、陶芸教室などのお楽しみ活動も好評を得た。今年も家族の意向を聞きながら、豊かな会にしていきたい。

② 地域との関係

昨年度は、台風で甚大な被害を受けた。利用者が居住地域で助け合い活動の輪に入っていないと安全を保障できない。職員も身動きが取れない事が多々ある。

その意味で、近隣住民宅へ避難した例がいくつかあったのは好事例である。今後ほかの場所でも助け合いを強化したい、

徘徊の人の見守りネットワークを立ち上げるため、なじみの商店・自治会・消防等に協力してもらった事例がある。

前記防災に関しても、同様の取組みが必要になるかもしれない。

③ 生活面をより豊かに

コロナ問題でインドア生活を強いられたおかげで、利用者個々の特長を発見できた。塗り絵の色が明るくなったり、ボーリング等室内遊戯、将棋等の勝負事や器用さを要するゲームに強い人など、発見が楽しい。

いずれ解禁されるだろうアウトドアやおでかけと組み合わせ、各人の個性が生きるようなすすかけ生活を深めたい。

経運営面で

① 研修

一昨年・昨年と、職員が交代で「講師役」を務め、発表する機会や自分の興味を深める内部研修を行った。狭い知識より幅広い人間になるためである。

今年は、外部研修を含め、もう少し「体系的な知識」を身に着けたい

② 加算

これまで、ヒエラルヒーにつながる給与等の体系を排してきた。処遇改善手当は5段階の3である。しかし昨年度事業報告の通り、経営には厳しい小規模多機能であることを考えると、加算の見直し等考え直す必要がある。